



第27号

2016年11月

# 市議会だより

第27号 2016年11月 発行／喜多方市議会 〒966-8601 喜多方市字御清水東7244番地2

## 9月定例会

〔審議された主なもの〕

「子ども・子育て会議で方向性示す」など

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 9月定例会あらまし ..... | 2     |
| 本会議・議案審議 .....  | 2～3   |
| 常任委員会の審査 .....  | 4～6   |
| 委員会視察 .....     | 7     |
| 意見交換会 .....     | 8～9   |
| 一般質問 .....      | 10～14 |
| 議案等の審議結果 .....  | 15    |
| お知らせ .....      | 16    |



たかさと棚田ウォーク秋

(高郷町小土山地区)





# 平成28年 9月定例会の あらまし

平成28年9月定例会は、9月1日から9月15日までの15日間の会期で開催されました。

市長提案により、人事案14件、報告3件、平成28年度補正予算案7件、条例案7件、単行議案1件が提出され、すべて同意・了承・可決されたほか、平成27年度歳入歳出決算、水道事業会計剰余金の処分及び決算については、決算特別委員会の審査に付託することになり、継続審査となりました。

なお、一般質問では19人の議員がそれぞれ市の対応や考えを問いました。

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 1日    | 【開会】本会議<br>会期決定、提案理由説明等    |
| 5日～8日 | 本会議<br>一般質問                |
| 9日    | 本会議<br>議案審議                |
| 12日   | 委員会<br>各常任委員会、付託案件の審査      |
| 15日   | 本会議<br>委員長報告、各案件決定<br>【閉会】 |

## 本会議・議案審議

質疑が9月9日に行われ、市長から提案のあった各案件を慎重審議しました。  
なお、この記事は議案審議の一部です。



平成28年度喜多方市  
一般会計補正予算に  
ついて

### 第四保育所の廃止 計画は見直すのか

**問** 子ども・子育て会議の  
委員報酬を追加計上し  
た理由は。

**答** 子ども・子育て支援事  
業計画の需要量の見込  
み、施設の増設も含め、第四、  
第一保育所の閉所時期等につ  
いて検討する必要ができた  
ため、2回分の委員報酬を追  
加計上した。

**問** 来年度の保育所等の募  
集は11月の市広報には  
掲載予定となるので、早急に  
会議を開き検討すべきであ  
る。今年度で廃止する予定の  
第四保育所を予定通り廃止す  
るのか、市民・保護者は不安  
をもっている。議会との協議  
も必要と考える。具体的に今  
後どのように進めていくの  
か。

**答** 2回目の会議で来年度  
閉所予定の第四保育所  
を予定どおり閉所するかどうか  
を検討するので、その結果  
として市広報11月号へ募集の

お知らせを載せられるかどうかということになる。子ども・子育て会議をできるだけ早く開催し、結論、方向性を示せるようにしたい。

## 旧商業高校跡地臨時駐車場さらに拡張へ

**問** 駐車場拡張工事の詳細は。

**答** すでに臨時駐車場として整備したが、今年度のしだれ桜開花時の来訪者の状況を考慮し拡張する。



場所は元グラウンド西側のテニスコートの部分約1976㎡であり、工事内容はフェンスの撤去、表土の剥ぎ取り、下層路盤、そして区画線の整備を行う。

この整備により65台の新たな駐車スペースを設け、既に整備している333台と合わせて合計398台の駐車が可能となる。

**問** 今後、さらに観光客が増え駐車場が不足をした場合は、また来年度拡張す

るのか。

**答** 旧商業高校跡地のグラウンドにおける臨時駐車場の拡張はこれ以上はできない。

来年度以降駐車場については、周辺の公共駐車場などへの出入りをしやすくするため、誘導員を配置するなど、既存の駐車場を併用して利用していく。

## 敬老会対象者の意見を聞き参加率アップへ

**問** 敬老会のアンケート調査について、目的、対象者、対象人数などどのように実施されるのか。

**答** 今年度の調査は、実際に敬老会に参加される77歳以上を対象に9000人の中から3000人を抽出し実施する。市は、地域包括ケアシステムの構築を推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して健康で暮らせる地域社会を目指している。介護サービスはもとより地域で支え合う地域社会づくりの一環として敬老会も考えている。

**問** 敬老会への出席率が残念ながら低い、対策は検討されているのか。

**答** 式典だけではなく余興に対する意見も様々である。その辺もアンケートに加味したい。



▲岩月町敬老会

**答**

出席率は、25%程度になっている。参加者の意見を聞いていないという声も多い。意見を聞き参加率アップにつなげたい。

**問**

一部の式典の挨拶が長方、二部の余興を楽しみにしているとの声がある。工夫できないか。

**答**

式典だけではなく余興に対する意見も様々である。その辺もアンケートに加味したい。

## 歴史的建造物保存活用調査等業務委託料97万5000円について

**問** 建築基準法の除外に係る条例を制定するのに、なぜこのような調査が必要なのか。

**答** 住居に使用している蔵において、店舗として利用したい場合には建築基準法に基づき用途変更の手続きが必要となる。つまり住居だと個人の住まいだけであるが、店舗になると不特定多数の人が入って来るので消防法や建築基準法上の適用を受けることになる。そのため調査が必要になってくる。

**問** 委託料の中に含まれる意見交換会は必要なのか。

**答** 建築基準法上、歴史的建築物に詳しい方々の意見を聞いて、基準をつくることとなっている。県の建築審査会の同意を得ないとこの条例が有効にならないことから、建築審査会とのやり取りの基礎資料を得るため必要である。

# 常任委員会の審査

9月12日に各委員会の質疑応答が行われました。

## 総務常任委員会

平成28年度喜多方市  
一般会計補正予算について

### より耐久性の高い 小水力発電に

**問** 補助事業活用のための増額補正とのことだが、その内容は。

**答** 県が今年度新たに創設した「地域参入型再生可能エネルギー導入支援事業」を活用する。この補助事業に取り組む場合は、耐用年数が20年程度必要である。当初計画していた市の単独事業では耐久性はそれほど高くなかったため、耐用年数の高い機



▲小水力発電予定箇所

器に変更した。

**問** 事業費の総額はいくらになるのか。

**答** 当初予算では総額で1500万円。1353万円を追加し、総額で2853万円。

### 集会施設整備 行政区が利用しやすい制度見直しを

**問** 3行政区の集会施設屋根置き替えに係る補助事業の予算が計上されているが、どの程度の頻度で置き替えを行っているのか。

**答** おおむね10～15年程度である。

**問** 塗装は6～7年程度で置き替えをやらないと適正な維持管理はできない。どのような指導をしているのか。

**答** 行政区の所有なので制度利用の相談に来ていただいて行政区の判断で行っている。この補助制度は1度

使うと7年間は利用できない。屋根の耐久性を考えると適合していると思う。補助利用の際には7年間の期間制限の話は伝えている。

**問** 一度工事を行うと、7年間は他の改修等ができない。工事種別ごとに期間制限をすることで、適正な維持管理ができるのではないのか。

**答** 平成26年に期間制限を14年から7年に改正した。状況を精査していきたい。

平成28年度喜多方市  
駒形財産区特別会計補正  
予算について

### 財産区管理委員報酬 の支払い漏れの 再発防止の徹底を求 める

**問** 各種委員会等において、現金で手当が支給される場合と口座振替の場合があるが、基準はあるのか。

**答** 原則口座振替である。現金払いの方が確実な面もあると考えるが、見直しをすべきではないか。



▲総務常任委員会審査

**答** 現金を扱うことになれば、事故が想定されることから口座振替としている。

**問** 口座振替でもミスは起きた。検証してはいかがか。

**答** 精査させていただいた。

採決の結果、全議案について原案のとおり承認



## 文教厚生常任委員会

平成28年度喜多方市  
一般会計補正予算について

### 伝建保存地区の協議 経費補正

**問** 文化庁との協議や地区  
説明会はどのように進  
めていくのか。

**答**

8月の現地調査で、  
様々な課題について文  
化庁から提示された。市で整  
理がつき次第、文化庁との協  
議を行うため、最低3回は必  
要ということで予算を計上し  
た。

地区説明会は、第一回の説  
明会で各行政区単位の説明会  
を開催し、今後は保存地区の  
範囲が決定してから、地区説  
明会の開催を予定している。



▲おたづき蔵通り

### 待機児童発生の早急 な対策を求める

**問**

子ども・子育て会議で  
の議論を受けながら対  
策会議を経て、最終的には議  
会にも考え方を示していくと  
いう説明があったが、これか  
らの方向性を伺う。

**答**

待機児童が発生してい  
るといふ現状を踏ま  
え、子ども・子育て会議の中  
で施設の増設や第四、第一保  
育所を廃止しないことなどの  
意見をいただいて、その中で  
議論し、方向性を決めていき  
たいと考えている。

### 生活保護費受給者の 返還の経緯

**問**

生活保護費受給者の返  
還金が発生した理由と  
内容は。

**答**

労働収入の未申告が調  
査により判明したものが  
2件で80万3000千円、  
年金を遡及して受給したもの  
が4件で51万2000千円。  
この4件の内訳は、老齢基礎  
年金の遡及該当者が3人、障  
害基礎年金の遡及該当者が1  
人である。

**問**

年金と生活保護を受給  
している方も多くいる  
と思うが調べているのか。

**答**

被保護者の年金の受給  
に関しては、保護相談  
があったときに確認し、被保  
護者になった後でも、他の収  
入がないか確認している。

確認中に年金受給が発生し  
そうな場合、本人への聞き取  
りと年金事務所への確認依頼  
などで年金受給の有無を確認  
している。

**問**

生活保護者が生命保険  
に加入することはでき  
るのか。

**答**

生活保護者の方が保険  
に加入することは原則  
できなく、保険に加入する経  
費があるのであれば生活費に  
回していただくということが  
原則。同一世帯の方が生命保  
険をかけることは認められな  
い。

採決の結果、全議案につ  
いて原案のとおり承認

※遡及とは、過去にさかのぼ  
って影響・効力を及ぼすこと。



▲文教厚生常任委員会審査

平成28年度喜多方市  
一般会計補正予算について

## 道路除草は誰が行うのか

**問** 市では県道の除草について約29kmを行政区へ委託をしているが、場所はどう決めているのか。

**答** 県道除草については、基本的には喜多方建設事務所が路線を選定している。その中で行政区において対応可能な場所については市が間に入り協議をしている。

**問** 行政区から県道除草の要請があった場合、市はどのような対応をしているのか。

**答** 要望については行政区長会又は行政区が市を通じて建設事務所に要望する場合と地元が直接要望する場合があるが、建設事務所においてどの部分が委託できるかを検討、その後、市と契約することになる。

**問** 除草指定になっていない県道周辺で農業の方は、自主的に除草を行っているが、燃料代について要望があった場合の対応は。

**答** 県が国県道の道路美化と清掃等のボランティアを支援する「うつくしまの道・サポート制度」があるので行政区長会を通じて地元へ周知したい。



▲道路除草

**問** 市道も制度はあるのか。

**答** 市道については、道路パトロールにより確認し、繁茂箇所を職員が除草をしている。

**問** 多くは農家の方々が除草をしている現状ではないか。

**答** 市道は約1063kmあり職員で全て行うのは難しい。今後公園等で地区とのサポート制度を実施して地元へ機械の燃料代や草刈り機の刃等を提供しているもので、これを参考に秋の行政区長会で協議したいと考える。

## 福島の酒は福島の米で

**問** ふくしまプライド日本酒の里づくり事業について本市の取り組み状況は。

**答** 蔵元については県から事業の要望調査があり市内11蔵元のうち3社が対象となった。

この事業では、喜多方産米に限定しないで、県産米も使用することになっている。更に、平成25年産と比較し、4t以上生産が増えていることなどが補助の条件となっている。



▲酒米稲刈りイメージ

る。

なお、本市の酒造好適米の作付けは今年度約94haであり53人が予定をしている。

**問** 福島県産米の酒造好適米の品種は何か。

対象品種は、夢の香、美山錦、五百万石である。

## 産地パワーアップ事業活用へ

**問** 補助する内容、利用者は。

**答** 施設はキュウリの予冷施設の導入を予定している。場所については、旧JA熊倉支所の北側を予定している。

いる。なお建物についてはJAで建設し、建物内の設備をこの事業で導入する。面積は130㎡(2基)になる。

**問** この補助はJAが対象か。

**答** この事業は、農業者だけでなくJA、生産者組織等が主体になれることから今回はJAが取り組み主体となる。

また、対象エリアは熊倉・関柴地区のほか北塩原村の一部の方が対象になる。

採択の結果、全議案について原案のとおり承認



# 行政視察報告

## 総務常任委員会

8/4～6 滋賀県近江八幡市・守山市・草津市

### 【近江八幡市】

まちづくり協議会による特色ある地域づくり

社会教育に限定されている「公民館」を様々な活動が可能な「地域コミュニティセンター」に改め、市民と行政の協働のまちづくりを推進している。

小学校の学区単位で協議会が設置され、地域住民の事業への積極的な参加や団体間の交流促進、自主防災組織の設立が進む等の効果が出ている。

### 【守山市】

守山まるごと活性化プラン

住みやすさ日本一へ

市内7学区でそれぞれの地域まちづくり指針を策定している。「ないもの」ねだりではなく「あるもの」を生かして地域の個性を磨くところがポイントだという。

現在は、琵琶湖周辺でサイクリングを楽しんでもらう事業や都市計画の特例制度を活用した定住促進事業への取組みなど効果が出ている。

### 【草津市】

公共施設を適切に維持管理するために

平成28年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、長期的な施設の更新や財政の課題に取組んでいる。草津市では人口増加が見込まれているものの、計画期間である20年間においても財源不足が見込まれている。新しく造ることから賢く使うことへ意識を変え、量の確保でなく質の向上に努めていくことが重要という。



▲視察風景

## 文教厚生常任委員会

8/3～5 北海道 函館市、室蘭市、千歳市

### 【函館市】

地域子育て支援センターが子育てサロン運営

平成19年市立保育園民営化計画により函館美原保育園は、社会福祉法人育星会に委託。「地域子育て支援センター」を設置し子育てサロンも開設。現在市内には、子育てサロンが13カ所あり、子育て中の親子が気軽に集い相談できる場となっている。

### 【室蘭市】

子育て支援のブランド化

子育て支援という意識ではなく、企業CSR、地域貢献の一環として市民協働の意識が醸成され「子育て応援団」の登録者が拡大。

最終目標は、行政の手を離れ、民間活力を活用して子育て支援を充実させ、室蘭市の子育て支援をブランド化させる取り組みである。

### 【千歳市】

5つのコンセプトで子育て応援

健やかな成長のため、児童館へのランドセル来館、学童クラブの対象学年と定員拡大、児童館のオープンスペースを中高生も利用できるよう「中高生タイム」、学習チャレンジ塾の導入。移住定住促進のため、子育てコンシェルジュ、転入親子ウェルカム交流ツアー、交流イベント「ランチデー」。女性の妊娠、出産、就業の支援のため、産前産後ケア、保育士等人材バンク、就職セミナーの開催。住民のワーク・ライフ・バランスの向上のため、子育て支援センターの休日来館の導入。家庭や地域での子育て力の向上のため、子育てガイド&おでかけマップの作成配布、子育てスキルアップ講座の開催。

「子育てするなら千歳市」としてブランドイメージの確立を図っている。



▲千歳市のパンフレット

## 産業建設常任委員会

8/8～10 岡山県津山市・真庭市・岡山市

### 【津山市】

産業振興及び農業六次化の取り組み

つやま産業支援センターは、産業の集積、個別企業の持続的成長支援、創業支援、人材育成等を重点事業として産学金官が広く連携を図るとともに、企業サポートを行い地域経済の成長、雇用の創出、維持等の地域産業の成長を図っている。

また、六次化については、つやまFネット（津山市農商工連携推進団体）が中心となり地域資源の活用、イベント情報の発信、計画推進に取り組んでいる。

### 【真庭市】

空き家情報バンク及び森林資源を活用した取り組み

空き家バンクについては、「岡山県空き家情報流通システム」を運用し、市と不動産業者が連携して空き家情報の提供をして入居者の支援を行っている。

また、林業産業の振興や新産業の創出、森林機能の回復をはじめ、地域エネルギーを地域自らが再生・可能エネルギーとして賄っていく循環型社会の構築に取り組んでいる。



▲集成材工場視察風景

### 【岡山市】

空家等の適正管理・再生・活用の取り組み

岡山市では、国が「空家対策の推進に関する特別措置法」を施行後、総合的に空き家対策を行うことを目的とした「岡山市空家等の適切な管理の促進に関する条例」を施行するとともに、空家等対策協議会や相談窓口を設置。空き家の除去、空き家診断、リフォーム、空き家バンク制度に取り組んでいる。

# 市民と議会の意見交換会

7月29日・30日の2日間、全議員が4班に分かれて市内8会場で開催し、計65名の市民の皆さんの意見を伺いました。

詳細は喜多方市議会ホームページをご覧ください。

喜多方市議会ホームページ <http://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/gikai/>

検索キーワードは

## 主な意見と回答

### 岩月交遊館

**意見** 待機児童解消の取組み、保育士不足は市の雇用管理の問題か。

**回答** 各施設の定員と希望のミスマッチも要因。第四、第一保育所廃止の見直しを求めている。保育士不足については、これまで待遇改善を求め、臨時職員3年雇止めも緩和してきた。

**意見** 議員定数を減らすと、少数意見や弱者の声が届きにくくなる。報酬引き上げには反対しない、生活の安定無くしては十分な働きができない。

**回答** 他市の例、人口動態や財政規模等から検討し、22名が妥当とした。報酬については、若い子育て世代からも意欲をもって議員になれる待遇が望ましいとの考えもある。

### 山都開発センター

**意見** 湯川村のふるさと納税は、3億5千万円で本市は3千700万円である。喜多方は、知名度も高くアイディア次第で納税額が上げられると思う。

記念品として、市内の物産品の消費も増え一石二鳥と考えるがどうか。

**回答** 市は、貴重な財源確保だけでなく、魅力の発信や地域経済波及効果も期待している。現在、120品目の記念品を準備しているが、今後にも充実していくとの回答。議会としても積極的に対応を求める。

**意見** 今回の参議院選挙で、選挙公報が届いていない公示後2日目に、地域に向いての期日前投票が実施されたがどうなのか。

**回答** 選挙管理委員会は、「選挙公報が届いていない地域での期日前投票の実施については、総合支所での期日前投票所開設の人員体制も含めて開設時期について検討したい」との回答。議会としても今後の推移を見守る。

### 熱塩加納会館

**意見** 三ノ倉高原のひまわり畑事業で①管理費用②観光客の入込数③シーズン中の収益金④菜種油、はちみつ等の収益はどの程度か。

**回答** 市は、「①三ノ倉高原花畑の管理費は本年度見込1566万6000円。②観光客入込み数は菜の花が1万8000人、ひまわりが9万2000人で合計約11万人。」



▲三ノ倉高原ひまわり畑

③シーズン中の収益金は協力金が約93万円、「山小屋くらら」内外での飲食・物販の売上高は約54万9000円。④菜種油は採取していない。はちみつ等の収益は約20万円になる」との回答。

**意見** 雇用促進住宅の取壊しについては、どうなっているのか。

**回答** 市は、「平成25年11月に早期の売却対象物件を一括して民間売却が進められ、平成28年5月入札公告、平成29年3月までに引渡しとなる」との回答。今後の推移を見守る。



## 塩川ふるさと会館

**意見**

子供を地元の保育園に預けられなかったり、兄弟別々になることもあるようだが、地元優先にしないか。

**回答**

市は、「保育園は、学区・地元優先の概念がない。次年度に向け（諸問題解決に）入所選考優先順位表を見直す」との回答。議会としても強く申入れ今後の推移を見守る。

**意見**

塩川駅東西を結ぶ連絡道路が必要ではないか。

**回答**

市は、「塩川駅の東西通路については、人と自転車を通れる連絡通路を設置することで、平成27年度に支障物件確認や比較検討案を作成。今年度は、予備設計を実施し、現地調査とJ・R東日本・貨物との協議資料作成を行う」との回答。今後の推移を見守る。

## 市役所ホール棟

**意見**

県立病院跡地の早期の活用を求める。

**回答**

市は、「庁内検討委員会を立ち上げ、活用するかどうかも含め、検討して結論を出す」との回答。議会としても今後の推移を見守る。

**意見**

議員報酬はもっと減らすべき。市民で年収200万円未満の人がどれだけのいるか。住民意識と乖離していないか。

**回答**

報酬については報酬等審議会に委ねるが、会議は市長が招集権を有する。専門性を高めるためにも議員報酬の見直しが必要とする意見も特別委員会が出された。

## 慶徳ふれあい館

**意見**

議員が4名減となると活動も広範囲になる。活動しやすくなるのが大事であり、政務活動費を引き上げるべきと考える。

**回答**

現状、政務活動費は、会派報の発行や行政視察に充当。制度も変わり会派で調査・研究するための人件費にも充当できる。他市の政務活動費を調査し、参考にすべきと考える。

**意見**

高齢化などで、長床のしめ縄作りの伝承が厳しい。伝統を守る環境づくりが必要と思うがどうか。

**回答**

市は、「しめ縄づくりの文化財指定という観点からは、全国的にも例がなく難しい。また、後継者育成は、市でどう対応をしているのか相談したい」との回答。推移を見守る。

## 関柴公民館

**意見**

移住・定住を促進するために、は、働く場が必要であり工業団地造成などの施策も必要ではないか。

**回答**

働く場の確保は、議会でも議論され、新工業団地造成は、豊川町綾金地区に約10haの土地を取得。今年度で、再測量・地質調査を実施。所管課には企業からの問い合わせもある。

**意見**

市は空き家対策で、壊す場合50万円を上限に補助。しかし、



▲意見交換会の様子（市役所ホール棟 大会議室）

通学に危険な箇所でも、持ち主が本市にいない場合の対応で親族依頼も負担が大きくそのままの状態だ。取り壊す補助額を増額できないか。

**回答**

市は、「限られた予算で補助金が多く活用され、老朽危険空き家を削減することが目的。現在の補助金額見直しは考えていない」との回答。議会としては、通学路上での危険空き家等への補助について、空き家対策協議会で検討するよう要請した。

## 高郷公民館

**意見**

地元企業の賃金水準を上げるため、市ができることをやってほしい。

**回答**

市の公共工事について、以前で落札されてきた。現在は90%を超える落札率であり、安定した金額で工事が発注・受注されていると思う。

**意見**

子育て世帯向け定住促進住宅が建設されれば若い世代も住むと思うので、高郷地区にも建設願いたい。

**回答**

市は、「市内全域を対象としたニーズ調査を行い地区の意向を把握し、その結果を踏まえ整備計画を策定する」との回答。今後の推移を見守る。

# 一般質問

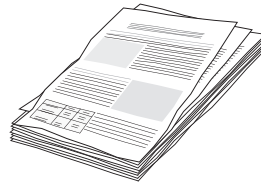
一般質問は、市政全般について、市の方針を質すものです。

9月定例会の一般質問は、9月5日

から8日までの4日間行われ、19名の

議員が登壇しました。文面は自己編集

とし、要約して掲載しております。



遠藤 吉正  
議員

## 防災施策について問う

**問** 災害時の市役所防災機能活用は。

**市民部長** 本庁舎は市民の安全と安心を守る防災拠点として、大きな地震による建物本体や設備機器等への損害を防ぐ免震構造となっている。大規模災害時では、2階会議室が対策本部となるので、情報を瞬時に伝える全国瞬時警報システムや総合情報通信ネットワーク等のシステムの、更には、本庁と各総合支所及び

防災無線をつなぐ総合操作卓等が整備されている。また、生活防災課内に災害情報共有システム等の国のシステムや消防救急無線等が整備。停電時には非常用発電設備に切り替わる等万全の態勢がとられている。

**問** 広域自治体間の水平連携は。

**市民部長** 東大和市や三条市及び全国ポータル場所所在市町村協議会加盟市町村と「災害時相互応援協定」を締結している。また、喜多方地方広域市町村圏組合内の「北塩原村」及び「西会津町」とは災害による被害を最小限に防止することを目的とした「喜多方市・北塩原村・西会津町消防相互応援協定書」を締結している。



渡部 一樹  
議員

喜多方市の  
グランドデザインを描くために

**問** 都市マスタープランの高度化版とも言われている「立地適正化計画制度」を活用して喜多方市のグランドデザインを描くことがこれからのまちづくりにとって重要である。検討の考えはないか。

**市長** 制度の考え方に基づき、歩いて暮らせる、集約型、低炭素型の都市構造を目指し、都市計画区域内に



佐原 正秀  
議員

## 学校統合

**今後の対応は**

**問** 統合校を配置する方式はどのよう

**教育長** 学校の適正配置については、少子化に対応した活力ある学校づくりのために小規模校のあり方や適正規模など検討する。

統合拠点の学校施設はできる限り有効活用を目指す、子供達のために新たな教育環境が必要な場合に

おける都市機能の集約を図る必要性などについて、十分な検討をしていきたい。

**問** 喜多方市都市マスタープランは、平成23年12月に策定されたが、東日本大震災や会津縦貫北道路の開通等で当初の頃とは大きく状況が変わっている。見直すべきだ。

**建設部長** 都市マスタープランの課題は、都市計画区域内の用途区域と実際の土地利用に差異が生じていること、会津縦貫北道路の開通に伴い、市内の都市計画道路の交通流動と交通量に変化が生じていること等である。喜多方市総合戦略を踏まえ、見直していきたい。

は、教育施設の改修や新設、拡張等も考えている。

**問** 統合前の準備として児童生徒を対象にどのような取り組みを行うか。

**教育長** 交流学习を位置づけるなど、定期的交流を図るほか児童生徒が新たな環境にスムーズに適応するために学校間の交流を行う。

**問** 早急な学校運営を示す時期にな

**教育長** 来年度までには、示したい。







後藤 誠司  
議員

リオ・パラリンピック強化合宿後の

県営荻野漕艇場整備は

**問** 老朽化している栈橋の改修が必要と思うがいかがか。また、バリアフリー化（ユニバーサルデザイン）も必要と思うがいかがか。

**教育部長** 老朽化している栈橋2基は、利用者の安全確保の観点から県が来年度改修する予定。

4年後の東京パラリンピックに向け、ユニバーサルデザインの栈橋増



齋藤 仁一  
議員

投票権を行使できる対応を

**問** 7月10日に投開票された参議院議員通常選挙時に、大学生等住民基本台帳に登録されながらも、選挙人名簿に登録されず、投票できなかったなどの苦情を聞いているが、喜多方市選挙管理委員会として実態を把握しているか。

**選挙管理委員長** 公職選挙法施行令第10条の2及び第11条に基づき、市内に生活の実態があるかどうかの実態調査をした。対象者84人中27人が

設が必要と考え、今後県と連携を図り早期に整備できるよう取り組む。

**問** 今回、高郷中学校寄宿舎が合宿の宿舎として使用された。今後、バリアフリー化を含めた改修が必要と考えるがいかがか。

**市長** 東京パラリンピックに向けても、今回と同様に高郷中学校寄宿舎を活用し、ボート競技の合宿を誘致したい。

県や日本パラローイング協会等と連携し、バリアフリー化等宿舎として必要な改修に取り組む。



日本代表の練習風景

市外に住所を有することが判明し、選挙人名簿に登録されず投票できなかった。

**問** この3月に卒業し喜多方に帰って来たが、引き続き住所を有する3カ月要件に合致しなかった例もある。今後は、不在者投票も含めて投票する権利を行使できるように丁寧な対応をすべきと考えるがどうか。

**選挙管理委員長** 市内に住所有無の実態調査は、毎年9月に実施しているが、今回の選挙には間に合わなかった。毎年対象者は500人程度であるが、住所を有するところへの登録を啓発するなど丁寧な対応をしていく。

なお、今回の選挙時の不在者投票については、市広報等で啓発をした。



山口 和男  
議員

最小の経費で最大の効果を

**問** 喜多方市、北塩原村、西会津町は喜多方地方広域市町村圏組合に負担金を交付している。

広域組合の新斎場建設に係る予算は、14億5175万7000円で、その入札結果は、13億507万2000円であった。差額の1億4668万5000円は減額補正を行うよう指導すべきではないか。

**市民部長** 広域組合に確認したところ、適正な時期に減額補正を行うとのことな



江花 圭司  
議員

豊かな生活を送る

市民が増えるように

**問** ハーバード大学で行われた、卒業生の10年間にわたる追跡調査の結果、卒業生の3%は飛びぬけて豊かな生活を送っている。97%の学生は夢や目標を何にも記していないのに対して、3%の学生は目標設定と夢を紙に記していた。また、我が国でも古くから言霊信仰として「夢を口に出していれば、いつかその夢は叶う。」と言われてきた。先日、いわ

ので、その推移を見守る。

**問** 広域組合の議会は2月と9月の定例会しかない。9月議会で減額を行わなければ、不均衡となり、住民の負担が増えることになる。このことから適正な時期とは、9月議会と考える。最小の経費で最大の効果を上げるためにも、早く減額を行うよう指導すべきではないか。

**総務部長** 新斎場建設の差額の件について、広域組合と協議を行う。

**副市長** 広域組合の負担金については、指摘のあった内容を真摯に受け止め、今後は重要な案件や大規模な事業などについては、説明する機会を設け、丁寧な議会運営に努める。

き市では中学生に夢や目標、挑戦する意欲を記入するチャレンジノートを制作し活用を促した。本市でも義務教育全般に夢や志を書き留め、言葉に出して発表させる取り組みを行っている。

**教育長** 教育的に意義のある活動であり、全校生の前で発表する機会も設けている現状。児童生徒は、自分の夢を持つとともに、友達にも夢があることを知ること、夢を叶えようと意欲を高めたり、友達と励まし合ったりしている。



チャレンジノートの例



菊地とも子  
議員

### QRコードシステムの導入を

**問** 認知症の方が外出先で不測の事態になった時の早期発見と、安全確保の迅速な対応ができる画期的なシステムと考えるが、認知症の方に対しては、どのような取り組みをしていくのか。

**市長** 本年4月1日現在、65歳以上の高齢者は1万6671人で、高齢化率は33・4%である。本市では、

緊急通報システム利用者に対して、本年8月にQRコードシステムの導入を図った。QRコードシステムは、高齢者や認知症の方々が外出先での急病や事故、徘徊などにより帰れなくなった場合、持ち物等に配付しておいたQRコードを居合わせた方が携帯電話で読み取ると、運営事業所の連絡先と該当者を識別するための番号が表示されるシステムとなっている。行方不明者の早期発見・早期対応に繋がるほか、認知症の方を見守る方々にとっても有効なシステムであるので、QRコードシステムの利用者を増やしていく。



佐藤 一栄  
議員

### 空き家対策について

**問** 空き家情報バンクに対する取り組みは。

**建設部長** この取り組みは、多くの方に空き家の情報を提供し、空き家の利活用を図るとともに、空き家の削減につながる有効な手段と考えている。

現在、本市においては、空き家情報カルテにより、空き家情報を提供

しているところであるが、今後、空き家実態調査による情報との連携を図り、定住や二地域居住施策と併せ、空き家の利活用のための情報提供について検討をしたいと考えている。

なお、これらの情報提供の検討については、今年度、空き家等対策協議会を立ち上げる予定であるので、協議会の中でご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。不動産の売買等においては、資格を有した不動産業界との連携は不可欠であると考えている。



齋藤 勘一郎  
議員

### 飯豊山のトイレ整備を!

**問** 三国、切合、本山、各避難小屋トイレが故障しているが、どのような現状か。

**産業部長** 3つの山小屋で計4基の水洗トイレの足踏みポンプ吐水口の弁が破損していた。

**問** 今後の対応は。

**産業部長** 来年度、各山小屋トイレの汲み取りを行う予定であり、それと併せて修繕を行う。

**問** 切合避難小屋のソーラー発電に不



坂内 鉄次  
議員

### 日中線記念自転車歩行者道の景観に配慮した樹木管理

**問** 並行して走る市道の安全管理と

しだれ桜の景観に配慮した管理の兼ね合いから、市道(側道)管理の変更などの検討が必要と思うが何う。

**建設部長** 市道の管理は、管理者として安全を確保する必要があることから、植栽されているしだれ桜や樹木についても、安全管理に重点を置いた剪定が必要であり、景観に配慮

具合が生じているが対策は。  
**産業部長** ソーラー発電の効率的な活用ができるよう次年度に整備する。

### 有害鳥獣について

**問** 今年4月から8月における有害鳥獣の出没、捕獲頭数は。

**市民部長** クマの出没は260件で捕獲は45頭。サルの出没は71件で捕獲は15頭。イノシシは21件、ニホンジカは2件の出果があるが、捕獲はない。

**問** 年々有害鳥獣の被害が拡大し、市内全域で400万円を超す農作物被害が発生したが、対策はどうするのか。

**市長** 全国市長会で国へ要望し対策交付金が出るようになった。今後、集落環境の整備等対策に取り組む。

しつつも、安全を確保するための管理に努めて参る。

**問** 「しだれ桜散歩道」の名称が市民や観光客に定着・親しまれてきている現状を踏まえ、「日中線記念」は残しても、自転車歩行者道の名称を変更しても問題はないと考える。

近年は、交通事故対策から自転車と歩行者を分離させてきていることを考慮すれば、歩行者優先にして、自転車道は公園に沿って走る市道の公園側に設け、市道を一方交通にすることで、市道の安全確保や公園の景観にも配慮できると考えるがどうか。

**建設部長** 前向きに検討する。





関本美樹子  
議員

**本市男性の平均寿命、県下ワースト2からの脱却の為の施策と進捗状況を問う**

**問** 原因と、その具体的な施策は何か。

**市長** 本市男性の健康課題としては、心疾患や脳血管疾患と言った血管に関わる疾病や胃がんによる死亡率が高い。さらに長期の喫煙が原因とされる慢性閉塞性肺疾患による死亡率も高い。それらの対応としては、特



小林時夫  
議員

**救急キット次年度より配置**

**問** 救急キットの配置については、平成27年6月定例会一般質問において「広域ということ、関係の西会津町、北塩原村とも協議をして、再検討する」との市長答弁であったが、再検討した結果は。

**市長** 救急キットの検討結果については、北塩原村及び西会津町では、救急キットの検討には至っていない。



救急キット

広域消防本部との協議では、一人暮らし高齢者等の救急搬送の際、現在配置されている「緊急連絡カード」によりスムーズな救急搬送に繋がる場合もあったことから「要援護者登録台帳」を入れた救急キットが配置されていれば、さらにスムーズな救急搬送に繋がるの見解であった。このため、要援護者の方々の安全を確保する観点から、救急キットについて、次年度配置に向け対応する。



長澤勝幸  
議員

**災害情報の充実とネット公開**

**問** 異常気象で、各地で災害が多発。災害の予測・情報の共有化が初期行動で重要になる。国は、GPS機能を利用して災害情報が確認できるポータルサイトをリニューアルした。

**市長** 情報は、情報リンクをどう進めるのか。  
**市民部長** 国土交通省ハザードマップポータルサイトは、全国の市町村HP、インターネット上の公開情報とリンクして閲覧するもので、市は、



五十嵐吉也  
議員

**本市の活性化対策について**

**問** 本市は人口定住化策が最大の課題である。昨年度の雇用創出の成果と本年度の取り組みによる企業誘致数と雇用人数の目標数値は。

**市長** 昨年は市外の企業1社が新設され、14名の雇用が図れた。本年度も各種支援策を活かし企業誘致を図る。本年度は、今のところ企業訪問の予定はなく、企業誘致の見込みはない。

今後、ハザードマップのデジタル化を図り、HP掲載を進める。

**問** 国は「洪水想定最大規模」の見直しと「家屋倒壊等氾濫想定区域」の中で、「阿賀川と支流の日橋川」の危険性が高いと公表した。どう対策を進めるのか。

**市民部長** 平成23年7月の新潟・福島豪雨などによる甚大な被害を受け、国が管理する河川の浸水想定を見直した。市は、河川管理者が行うハード対策だけでなく、人の命を守るためのソフト対策を組み合わせることが重要と認識している。



**繰入金金の運用について**

**問** 本市は当初予算に各種基金を繰り入れて編成している。

この繰り入れた基金は崩さない限り3月末日までに一般会計で戻さなければならぬ。戻す財源は何か。銀行からの一時借入金か、借入金は何で返済するのか、翌年度歳入の繰上充用ではないか。予算書には、それぞれ戻すための予算に利子を上げている。3月末日に戻していると思うがどうか。

**市長** 歳入予算に計上された基金繰入金金は借入金とは異なり年度末まで利子・元金を戻す処理の必要はない。



上野利一郎  
議員

三ノ倉高原花畑事業について

問 この事業の経済効果は。

市長 昨年の経済効果は前年の2倍以上の約2億1000万円で、本市も含め震災後の広域観光の発展に大きく寄与している。本年も約11万人の来場があり、特に県外客が増え、東北を代表する花の名所となりつつある。

問 畑の地力回復の必要性は。

産業部長 養分が不足気味の箇所には有機質堆肥の施肥で対応している。



小島雄一  
議員

本市総合計画について

問 20年後本市の人口は4万2000人が減少し、経済も2割以上の縮小する社会が予想される。特に中山間地は半減も考えられる中で小学校区を単位とした小さな拠点を築いてUイーターンの呼び込みに成功している島根県のような取り組みを計画に取り入れてはどうか。

企画政策部長 総合計画はアンケート等が終了し策定本部や基本計画審議会

問 シャトルバス運行経費と夏期リフト改修・運行経費の比較は。

産業部長 リフトの夏場の運行は改修に多額の経費が必要で、リフト運行の要員配置も考慮すると、バス運行よりかなり多額の費用が必要になる。

問 花畑の鑑賞・協力金の考え方は。

産業部長 箱を設置し協力金を募っているが、少しでも自主財源の確保につながるよう方策を研究していく。

問 ふるさと振興との協議は。

産業部長 レストラン・売店の営業時間延長を希望する声が多く、観光客のニーズに基づきサービスの充実に向けて随時協議していく。

にて審議していく。小規模多機能自治体いわゆる小さな拠点については、他市の取り組みなどを参考にしながら研究していく。

農林業ビジョンについて

問 策定の時期や現計画の反省検討をどうするのか。また、J Aと共に進めてきたハウスの増棟は3年で286棟にもなるがトップセールスとどうなるか。

産業部長 策定については本年に検証し来年度になる。ハウスの増棟は大きな効果を上げており今後もビジョンに反映し取り組む。トップセールスは6年間で25回実施しており、関西や沖縄等販路開拓ができた。今後も強力に推進する。



矢吹哲哉  
議員

TPP合意は国会決議違反

承認すべきでない

問 TPPは日本の農業・農村の崩壊につながる。国会承認反対を国会・与党議員に働きかけるべき。

市長 秋の臨時国会で審議されるが、その動向を注視していくとともに、TPPの影響についても不透明であることから、不安が払しょくされるよう、現場の声は全国市長会等を通じて強く要望していく。



渡部信夫  
議員

農業共同利用施設整備の支援を

問 農業は、市の基幹産業として地域経済を支える基盤であることはもちろん、地域コミュニティの維持、伝統文化の継承など、必要な役割を果たしている。しかしながら、目まぐるしく変化する農業政策の中、農業を取り巻く情勢は厳しさを増しており、経営のさらなる再編合理化は必須であり、更なる省力化と生産コ

問 重要5項目586品目のうち174品目、3割で関税撤廃しており、明白な国会決議違反である。昨年の市農業委員会建議書でも、市長としてはっきり意見を上げることが決議している。国会承認に反対の態度を明確にすべきである。

産業部長 TPPの影響は不透明で分からないところがあり、国会決議違反かどうかについても、明確に判断できない。

問 すでにTPP大筋合意から1年近くになる。日本の農業・農村、国の在り方の重要な問題である。態度を明確にすべきである。

市長 国会の動向を注視し、しっかり意見は言っていく。

スト縮減の為に、特に育苗や乾燥調製などの共同利用施設整備に、市が事業主体者となって、J Aや農業者と協力して積極的に事業推進するべきと思うがいかがか。

産業部長 施設整備事業に自治体が主体的取組事業者になる事例は稀で全国でも2件にとどまっている。市としては、産地の収益性の向上に向けた取組を推進するため、J A等の関係機関団体等と連携を図りながら、事業の推進を図ってきたところである。今後も施設整備事業については、農業者に対して積極的に支援を行うなど、さらに推進を図っていく。



# 9月定例会で提案された議案等の審議結果

## 全会一致で決定されたもの

### 市長提案

| 種 類 | 議案名                                          | 議決・審議状況 |
|-----|----------------------------------------------|---------|
| 報告  | 専決処分の報告について（専決第1号 損害賠償の額を定めることについて）          | 報告了承    |
| 報告  | 平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について                 | 報告了承    |
| 報告  | 継続費精算報告書について                                 | 報告了承    |
| 議案  | 工事請負契約について                                   | 原案可決    |
| 議案  | 平成28年度喜多方市一般会計補正予算（第5号）                      | 原案可決    |
| 議案  | 平成28年度喜多方市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）              | 原案可決    |
| 議案  | 平成28年度喜多方市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）             | 原案可決    |
| 議案  | 平成28年度喜多方市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）                | 原案可決    |
| 議案  | 平成28年度喜多方市駒形財産区特別会計補正予算（第1号）                 | 原案可決    |
| 議案  | 平成28年度喜多方市水道事業会計補正予算（第2号）                    | 原案可決    |
| 議案  | 喜多方市税特別措置条例の一部を改正する条例                        | 原案可決    |
| 議案  | 喜多方市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例                   | 原案可決    |
| 議案  | 喜多方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 原案可決    |
| 議案  | 喜多方市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例             | 原案可決    |
| 議案  | 喜多方市上勝集会所条例を廃止する条例                           | 原案可決    |
| 議案  | 喜多方市立幼稚園条例を廃止する条例                            | 原案可決    |
| 議案  | 平成28年度喜多方市一般会計補正予算（第6号）                      | 原案可決    |
| 議案  | 平成27年度喜多方市歳入歳出決算の認定について                      | 継続審査    |
| 議案  | 平成27年度喜多方市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について            | 継続審査    |
| 議案  | 一ノ木財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 一ノ木財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 一ノ木財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 一ノ木財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 一ノ木財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 一ノ木財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 一ノ木財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 早稲谷財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 早稲谷財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 早稲谷財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 早稲谷財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 早稲谷財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 早稲谷財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |
| 議案  | 早稲谷財産区管理会財産区管理委員の選任について                      | 原案同意    |

## 意見が分かれたもの

| 議案等名                                      | 議員名  | 議決結果 | 賛・反・成・対 | 田中和加子 | 矢吹哲哉 | 小島雄一 | 関本美樹子 | 江花圭司 | 渡部信夫 | 上野利一郎 | 遠藤吉正 | 渡部一樹 | 後藤誠司 | 菊地とも子 | 小林時夫 | 渡部勇一 | 坂内鉄次 | 長澤勝幸 | 齋藤仁一 | 田中雅人 | 遠藤金美 | 佐藤一栄 | 五十嵐吉也 | 大川原謙一 | 齋藤勘一郎 | 佐藤忠孝 | 佐原正秀 | 山口和男 |
|-------------------------------------------|------|------|---------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|------|------|------|
| 喜多方市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 21:2 | -       | ●     | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | -    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ○     | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    |

※ ○は賛成、●は反対、-は欠席。議長（渡部孝雄）は採決に加わらない。

